

作成した動画を、クラウド上で公開範囲を考えて配信する

<期待される効果>

【児童・生徒】○作成した動画を限定公開することで、相手に応じて情報を発信する力を育成することができる。

【教師】○情報発信における情報モラル意識を醸成できる。

<学習場面>

共同制作（協働学習）



<機能・ツール>

【撮影】 カメラ

その他：iMovie

【共有】

M365：Stream
（動画共有サービス）

<モデル事例>

○動画を視聴できるユーザーやグループを教員と決めておき、アクセス許可の設定をする。上級

○コメントは基本的にオフに設定するよう指示する。

○動画名は、内容が分かりやすいものにする。

<ポイント>

○動画の趣旨に合わせ「〇〇委員会」などチャンネルを作成しておき動画をリンクしておく、後から関連する動画を見付けやすくなる。

<注意点>

○事前の情報モラル教育が必要となる。

○動画をアップロードする前に、必ず教員が内容を確認する。

○アクセス許可で「社内全員」を選ぶと、自治体内全教員児童・生徒へ公開される。



<ハッシュタグ>

#共同編集 #ファイル共有 #思考力・判断力・表現力等 #特別活動 #上級